

# アジサイ新品種育成

県内鉢花生産では、「シクラメン」と労力競合せず収入の見込める品目として「アジサイ」の導入が始まりだしています。

「アジサイ」は、特に新しい品種で単価が高くなる傾向にあることから、オリジナル性の高い品種を持つ有利性が期待できます。

そこで、交配や突然変異といった手法を用いて「特異的な花容」、「鮮明な花色」、「矮性（コンパクト化）」、「四季咲き」といった形質を持つオリジナル性の高い品種の育成を行っています。

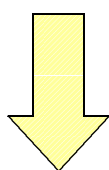


♀：隅田の花火

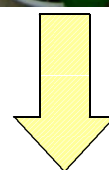
×



♂：ミセスクミコ



F1



← 自家交配



種間交雑により得られた有望系統の一例